

消費者動向調査（令和5年7月調査）

食の志向等に関する調査結果

- 1 食に関する志向
- 2 国産品かどうかを気にかけるか
- 3 国産食品の輸入食品に対する価格許容度
- 4 食品の値上げに対する意識
- 5 新型コロナウイルス感染症拡大を経た現在における購入方法の変化
- 6 果物の購入について

調査要領

調査時期 令和5年7月
調査方法 インターネット調査
全国の20歳代～70歳代の男女2,000人（男女各1,000人）
※インターネット調査であるため、回答者はインターネット利用者に限られる。

<調査に関するお問い合わせ>

日本政策金融公庫 農林水産事業
情報企画部 TEL 03-3270-5585

詳しい調査結果は、当公庫ホームページ (<https://www.jfc.go.jp/>) に掲載しています。
トップページから「刊行物・各種調査結果」→「農林水産事業」→「消費者動向等調査」
の順でご覧いただくか、右の2次元コードでもアクセス可能です。
(通信料はお客様のご負担となります)



注：図表において、四捨五入の関係上、合計が一致しない場合があります。

令和5年10月



日本政策金融公庫
農林水産事業

1 食に関する志向

図1 食に関する志向の推移(上位2つ回答)

- ・食に関する志向は、前回までの調査と同じく「経済性志向」「健康志向」「簡便化志向」が3大志向となった。
- ・「経済性志向」(42.5%、前回比+4.2ポイント)は大きく上昇したほか、前回調査まで3半期連続で低下していた「健康志向」(42.3%、同+2.5ポイント)、「簡便化志向」(35.9%、同+0.7ポイント)もそれぞれ上昇した。
- ・3大志向以外では「国産志向」(12.8%、同▲3.7ポイント)と「地元産志向」(4.8%、同▲3.0ポイント)が低下した。

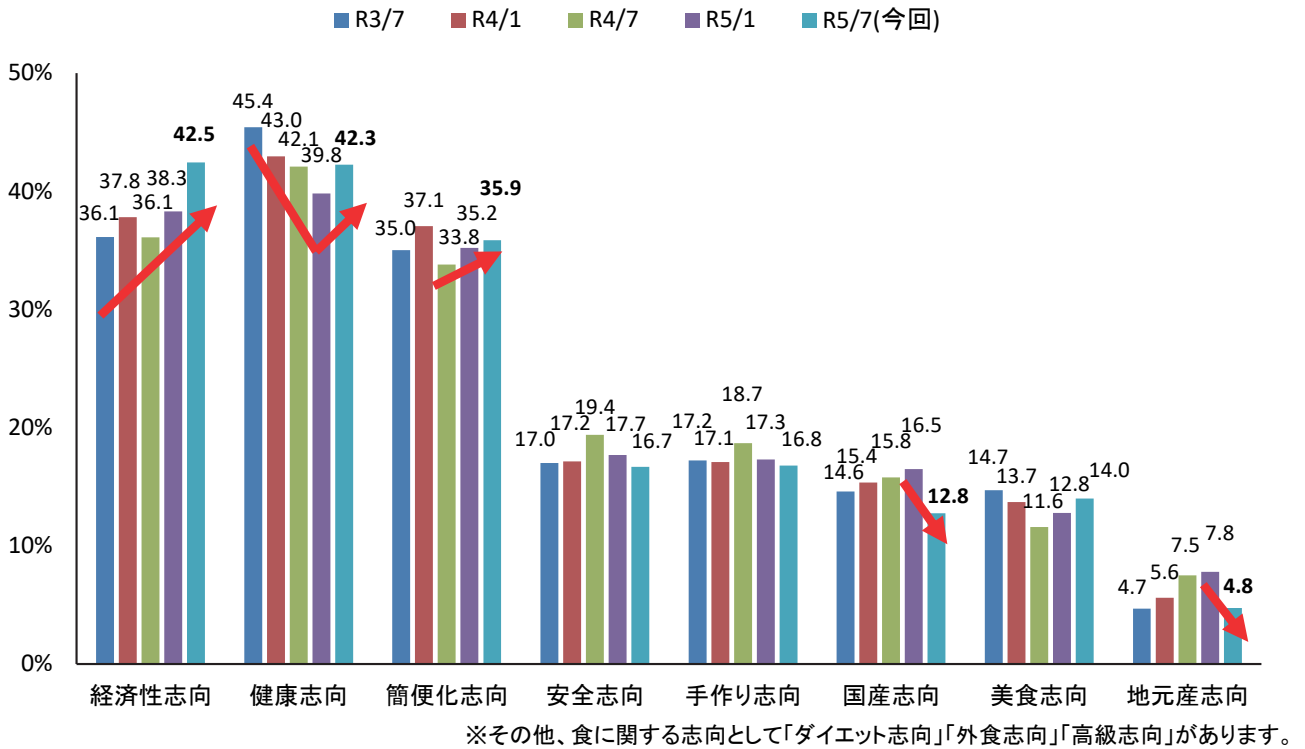


図2 食に関する志向(3大志向、平成20年1月調査からの推移)

- ・「経済性志向」(42.5%)は、リーマンショック後の不況により消費者の節約意識が高まった平成22年1月調査以来、13年半ぶりに40%を超えた。

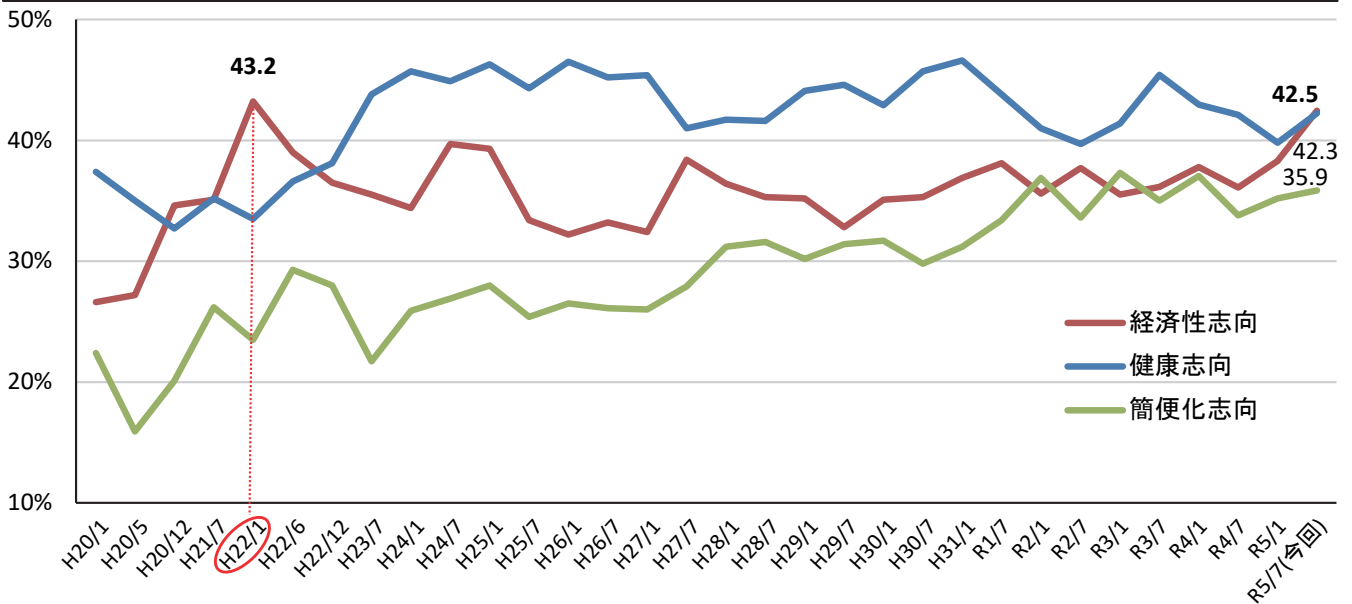
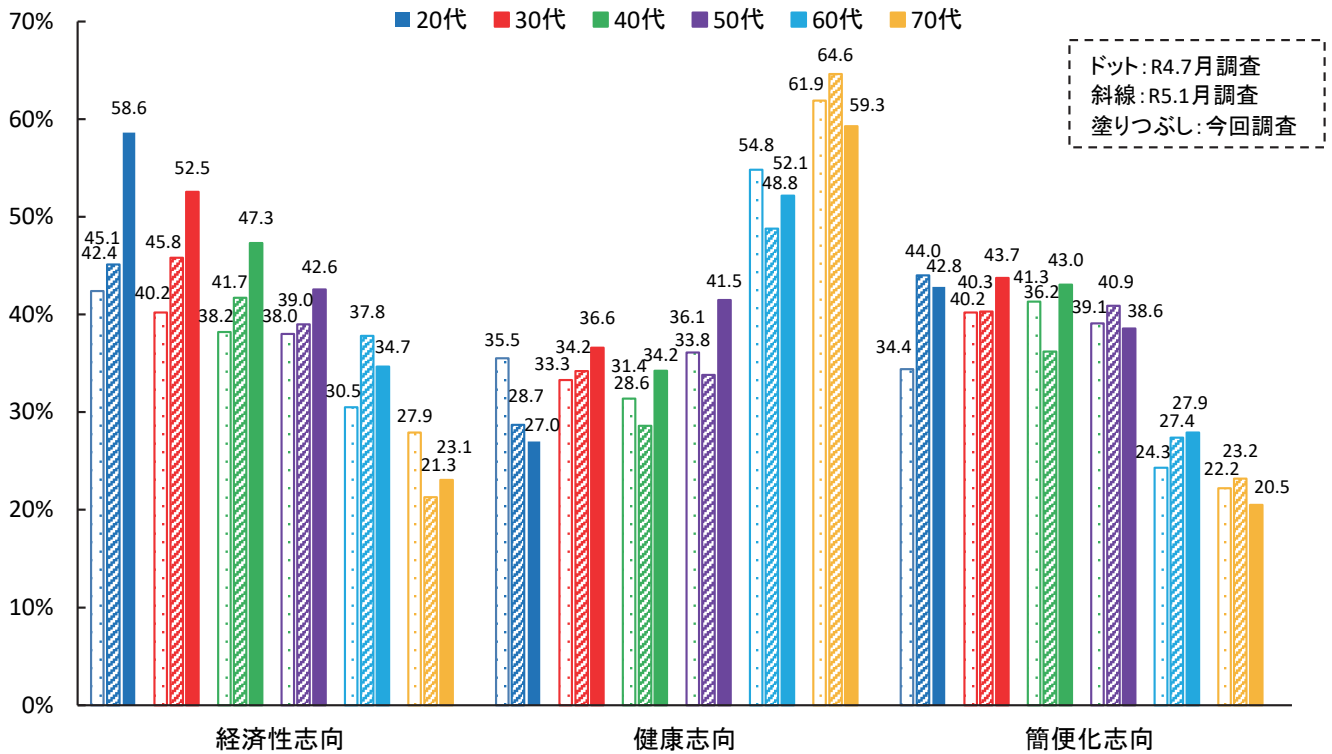


図3 年代別 食に関する志向(3大志向)

・「経済性志向」は60代をのぞく世代で上昇しており、若い年代ほど上昇幅が大きい(20代:+13.5ポイント、30代:+6.7ポイント、40代:+5.6ポイント、50代:+3.6ポイント、70代:+1.8ポイント)。



2 国産品かどうかを気にかけるか

図4 食料品を購入するときに国産品かどうかを気にかけるか(継年データ、年代別)

・食料品を購入するときに国産品かどうかを「気にかける」割合(65.2%、前回比▲4.5ポイント)は低下した。
 ・年代別にみると、「気にかける」は年代が高くなるほど割合が高い傾向。

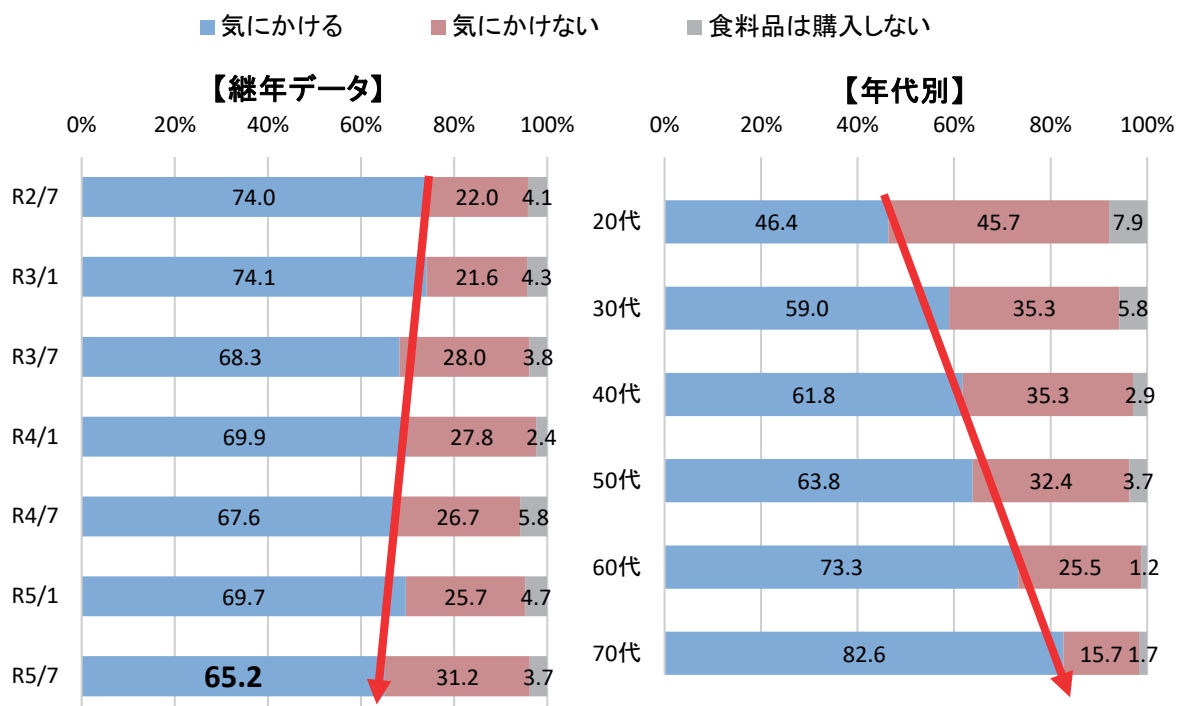
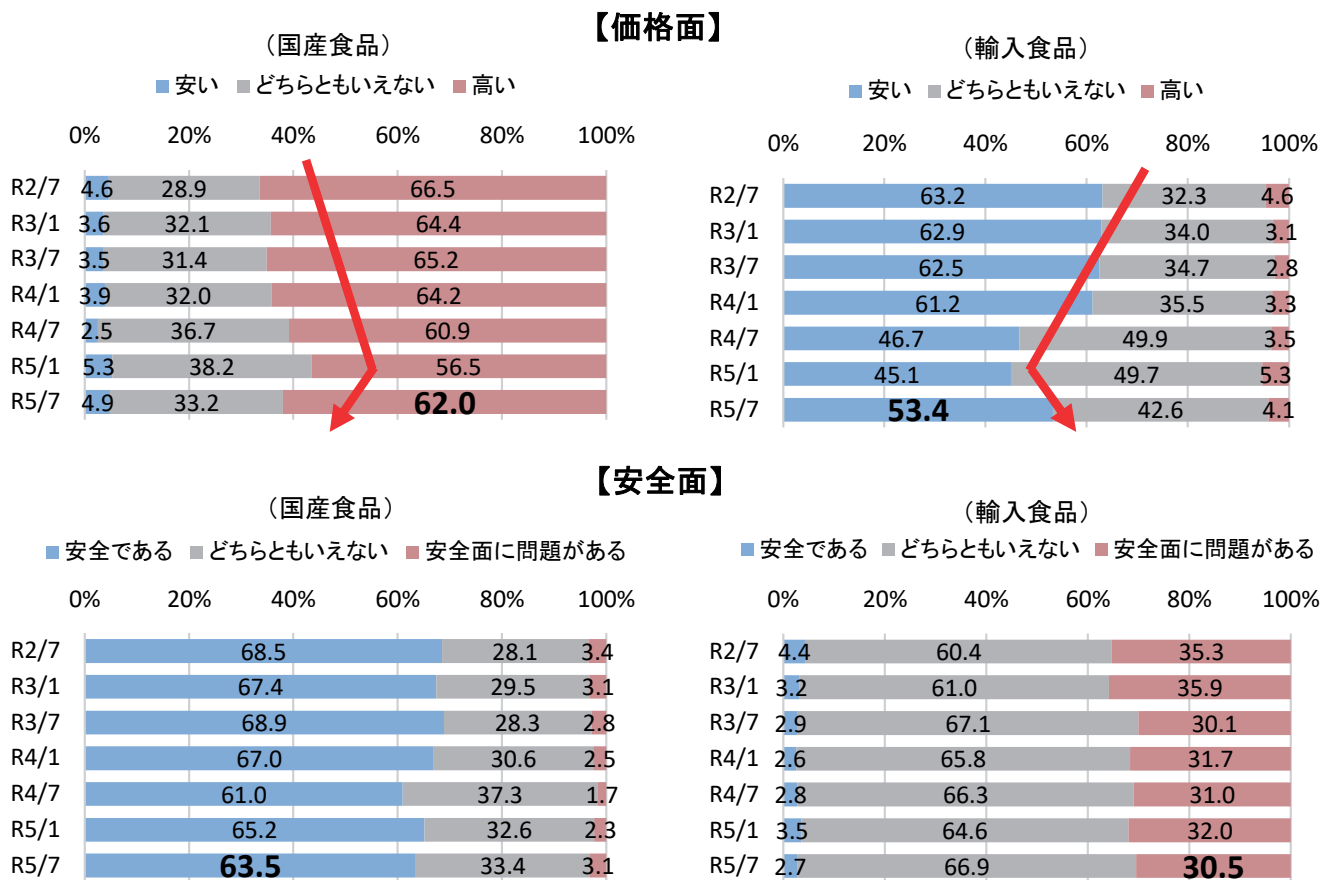


図5 国産食品、輸入食品に対するイメージ(価格面、安全面)

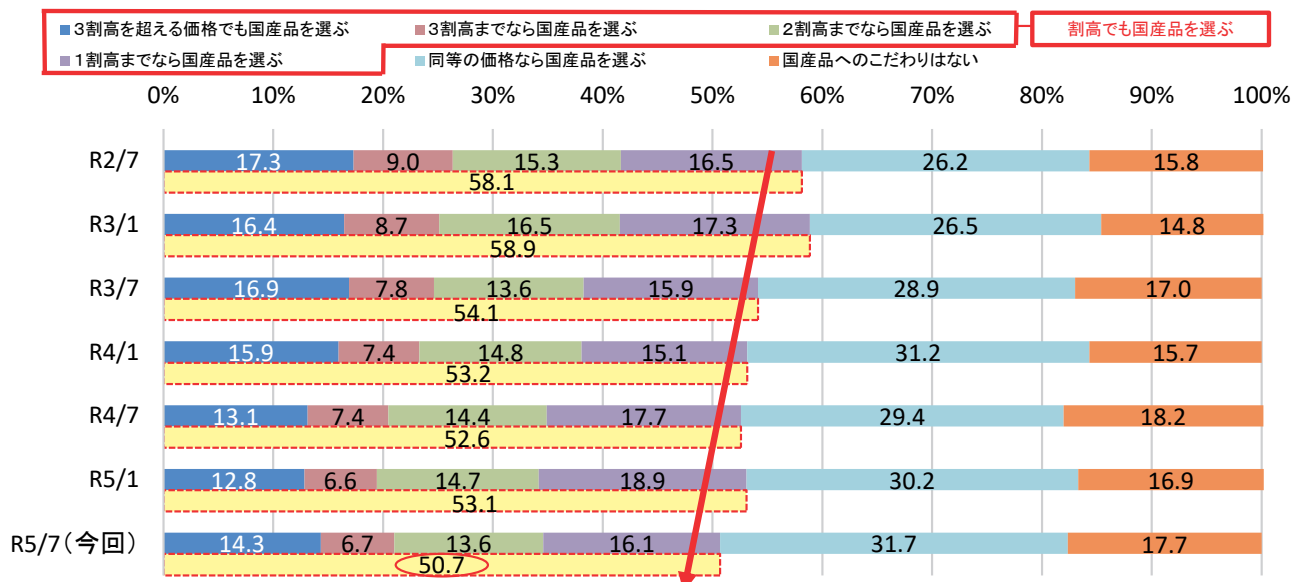
- ・国産食品に対するイメージについて、これまで低下傾向であった価格が「高い」の割合(62.0%、前回比+5.5ポイント)が今回は上昇。「安全である」の割合(63.5%、前回比▲1.7ポイント)は低下した。
- ・輸入食品に対するイメージについて、これまで低下傾向であった価格が「安い」の割合(53.4%、前回比+8.3ポイント)が上昇。「安全面に問題がある」(30.5%、前回比▲1.5ポイント)は低下した。



3 国産食品の輸入食品に対する価格許容度

図6 国産食品の輸入食品に対する価格許容度の推移

- ・「割高でも国産品を選ぶ」とする割合(50.7%、前回比▲2.4ポイント)は低下した。
- ・「同等の価格なら国産品を選ぶ」(31.7%、前回比+1.5ポイント)、「国産品へのこだわりはない」(17.7%、前回比+0.8ポイント)はいずれも上昇した。



4 食品の値上げに対する意識

図7 最近1か月以内に購入した生鮮・加工食品のうち昨年の同時期と比較して値上げを感じる品目

・最近1か月に購入した生鮮・加工食品のうち、値上げを感じる品目は「卵」(88.5%)が最も高く、次いで「パン」(79.8%)、「牛乳・乳製品」(78.8%)となった。

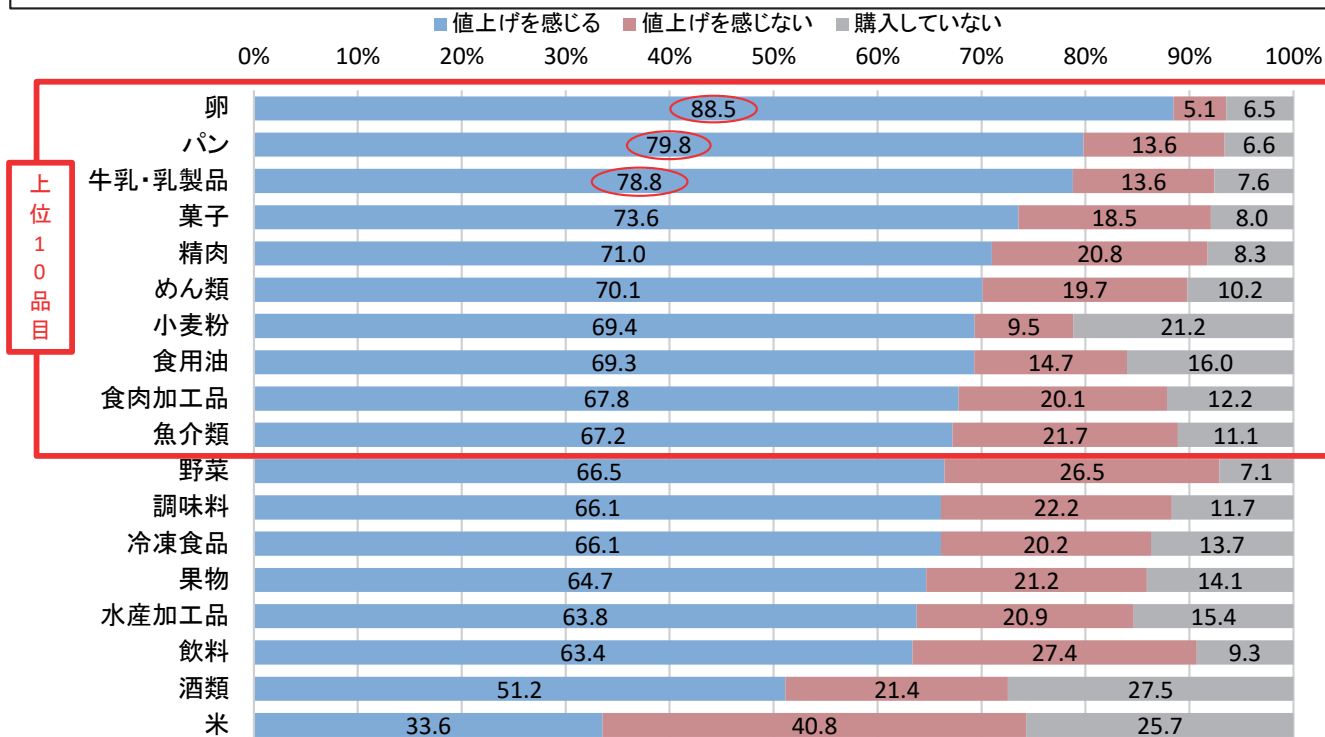
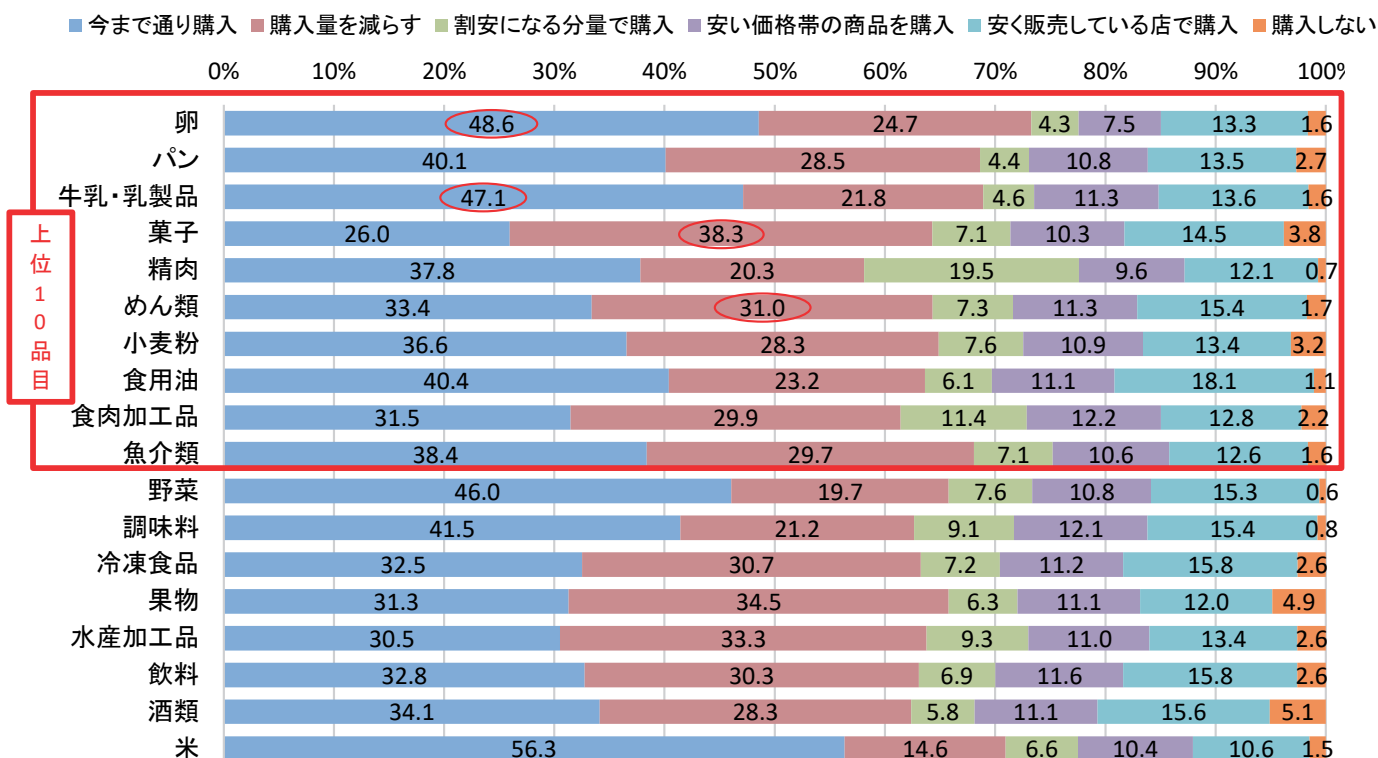


図8 値上げを感じる生鮮・加工食品を購入する際の消費行動の変化

・値上げを感じると回答した上位10品目に関する消費行動の変化について、「今まで通り購入する」は「卵」(48.6%)、「牛乳・乳製品」(47.1%)などで高くなり、一方で「購入量を減らす」は「菓子」(38.3%)や「めん類」(31.0%)で3割を超えた。

【各品目について、「値上げを感じる」と回答した方】



5 新型コロナウイルス感染症拡大を経た現在における購入方法の変化

図9 新型コロナウイルス感染症拡大を経た現在における購入方法の変化

- 令和5年7月時点の農林水産物・食品の購入方法について、新型コロナウイルス感染症が全国で拡大した令和2年1月～令和4年12月頃と5類移行後である調査時点を比較して、利用機会が増えた手段は「インターネットを利用して購入」(18.4%)が最も多く、次いで「量販店・スーパーを利用して購入」(12.7%)、「飲食店等のテイクアウト・持ち帰りを利用して購入」(12.3%)となった。
- 一方、利用機会が減った手段は「コンビニを利用して購入」(15.8%)が最も多く、次いで「量販店・スーパーを利用して購入」(8.3%)、「ドラッグストアを利用して購入」(7.8%)となった。

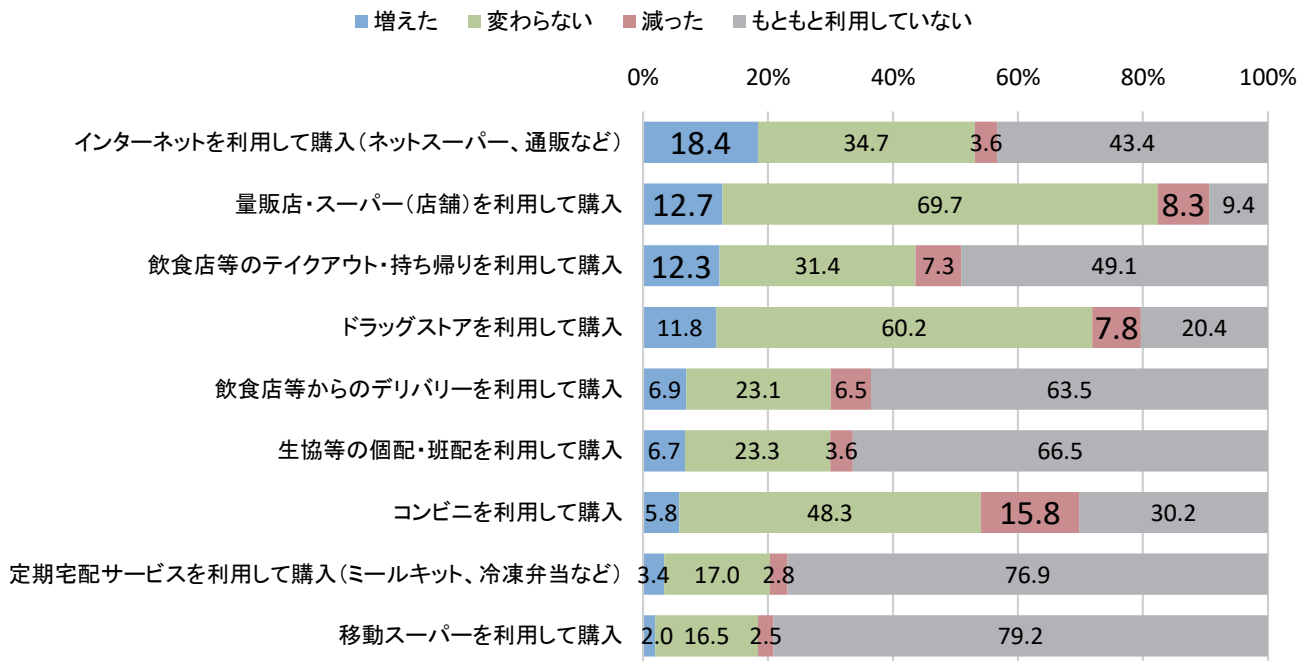


図10 「インターネットを利用して購入」「テイクアウト・持ち帰りを利用して購入」が増えた性別・年代

- 「インターネットを利用して購入」が「増えた」と回答した割合は、年代が低くなるほど割合が高い傾向となった。最も高いのは「20代女性」(36.3%)となった。
- 「飲食店等のテイクアウト・持ち帰りを利用して購入」が「増えた」と回答した割合は、男女ともに「30代」が最多となり、全ての年代において女性のほうが男性よりも高い割合となった。最も高いのは「30代女性」(26.9%)となった。

○インターネットを利用して購入が「増えた」と回答した割合

	男性	女性
20代	21.7%	36.3%
30代	26.0%	24.8%
40代	16.7%	20.3%
50代	12.0%	17.8%
60代	14.3%	12.7%
70代	12.3%	12.8%

○飲食店のテイクアウト・持ち帰りを利用して購入が「増えた」と回答した割合

	男性	女性
20代	13.3%	22.2%
30代	14.7%	26.9%
40代	9.4%	17.6%
50代	6.3%	13.5%
60代	6.2%	8.5%
70代	6.7%	6.9%

6 果物の購入について

図11 最近1年間で購入した果物(家庭用・贈答用)

- ・最近1年間で購入した果物について、家庭用では「バナナ」(66.8%)と「りんご」(61.9%)を購入したとする回答割合が6割を超えた。
- ・贈答用では「メロン」(11.0%)や「さくらんぼ」(8.0%)を購入したとする回答割合が高かったが、67.9%は「(贈答用の)果物は購入しない」と回答した。

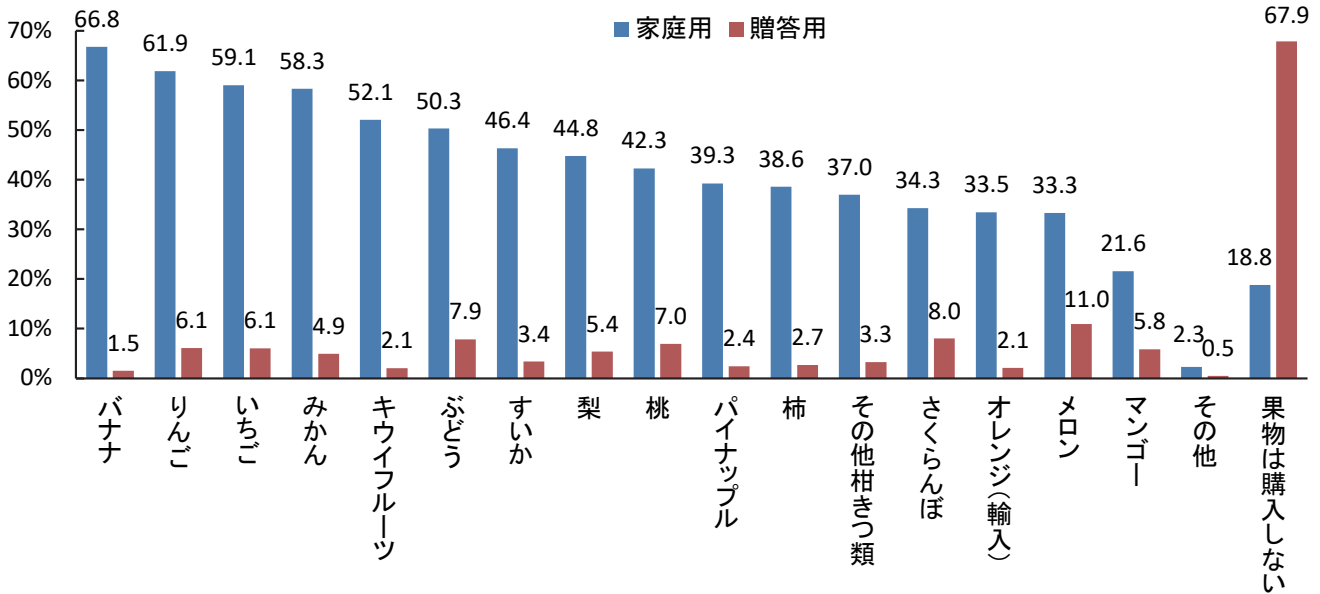


図12 最近1年間で購入した果物(家庭用、3大志向別)

- ・最近1年間で購入した果物(家庭用)について食の3大志向別で分析したところ、健康志向の回答者はすべての果物について「購入した」との回答割合が高くなった。
- ・「果物は購入しない」との回答割合は簡便化志向(24.8%)の回答者で最も高く、次いで経済性志向(23.3%)、健康志向(14.1%)となった。

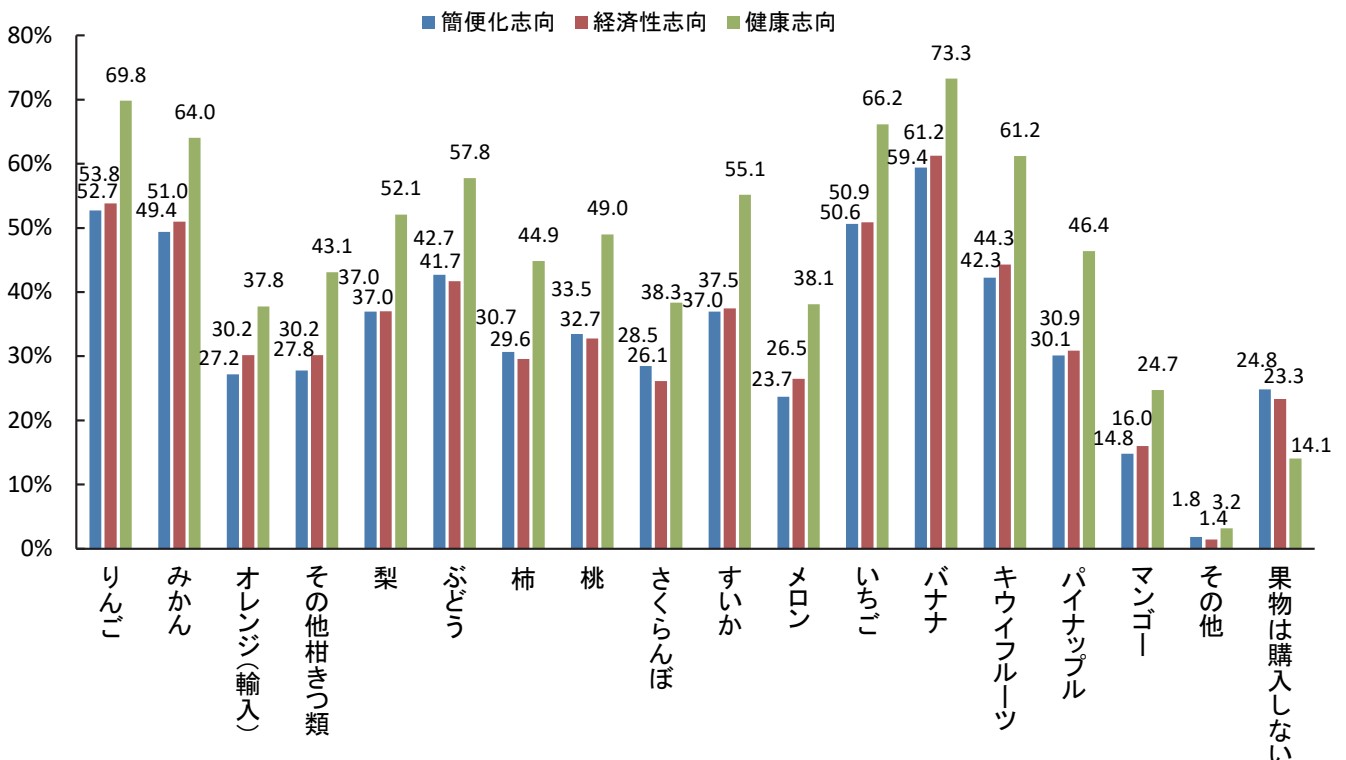


図13 果物を購入する理由

- ・購入する理由別では、「美味しい」という理由で「いちご」を購入した割合が37.6%と最も高くなった。
- ・最も購入率の高かった「バナナ」は、「手頃な価格」をはじめ5つの購入理由で最も上位となった。
- ・「メロン」や「マンゴー」の購入率は他の果物よりも低いが、「高級感がある」という購入理由では他の果物よりも高くなった。

	美味しい		手頃な価格		季節感や旬を楽しめる		国産が多い	
第1位	いちご	37.6	バナナ	37.2	すいか	22.7	りんご	16.8
第2位	りんご	32.8	りんご	24.9	いちご	21.4	みかん	15.1
第3位	みかん	32.7	みかん	24.1	ぶどう	19.7	いちご	13.0
第4位	ぶどう	30.9	キウイフルーツ	18.8	梨	18.9	梨	11.1
第5位	バナナ	30.6	オレンジ(輸入)	12.4	みかん	18.6	桃	10.1
	年間を通して販売されている		食べ慣れている		食べやすい		健康に良い	
第1位	バナナ	13.9	バナナ	13.7	バナナ	13.4	バナナ	13.2
第2位	キウイフルーツ	6.5	りんご	12.4	みかん	12.0	みかん	12.8
第3位	りんご	4.5	みかん	8.0	いちご	8.6	りんご	12.4
第4位	パイナップル	3.7	いちご	7.6	りんご	8.0	キウイフルーツ	10.6
第5位	オレンジ(輸入)	3.1	キウイフルーツ	7.1	キウイフルーツ	6.2	いちご	5.0
	日持ちがする		高級感がある		見た目が良い		好きな品種・ブランドがある	
第1位	りんご	8.3	メロン	7.2	いちご	6.2	ぶどう	5.8
第2位	みかん	5.2	マンゴー	5.5	桃	3.5	りんご	4.5
第3位	バナナ	3.4	桃	4.0	りんご	3.4	いちご	4.3
第4位	キウイフルーツ	3.0	さくらんぼ	3.6	さくらんぼ	3.2	梨	3.4
第5位	オレンジ(輸入)	2.6	ぶどう	3.1	メロン	3.0	みかん	2.7

図14 最近1年間で購入した果物(贈答用、地域別)

- ・最近1年間で購入した果物(贈答用)について回答者の地域別で見ると、北海道の「メロン」、東北の「りんご」、九州・沖縄の「マンゴー」、中国の「梨」、四国の「みかん」など、その果物の産地を持つ地方での購入率が高い傾向となった。

